



# 第1回 関西障害学生 支援担当者懇談会

## 障害支援事例紹介

2008年12月2日

京都精華大学 学生課  
障がい学生支援室  
磯垣 節子

1



## 支援の成り立ち

- 京都精華大学は：今年＝創立40周年  
人文学部・芸術学部・デザイン学部・  
マンガ学部  
学生数：大学院、学部計約4000名
- 障がい学生の在籍と支援は：  
大学創立時から →  
担当教員と関係部署で連携

2



## 支援組織と体制

- 障がい学生支援室：  
2004年9月設置 窓口を一元化  
障がい学生支援室 担当者 3名
- 所属部署は教務課 → 現在は学生課
- 委員会は教務課 → 教務委員会  
学生課 → 学生生活委員会

3



## 業務内容

- ノートワークのコーディネート（配置・フォロー・相談）
- ノートワーク（初心者編、経験者編等）講習会・パソコンワーク講習会・字幕付講習会・
- ビデオ教材の字幕制作
- ノートワークと利用学生のミーティング（KJ法・モグーラム・意見交換会等）
- 授業担当教員配慮依頼・調整
- 障害理解・啓発（支援冊子・広報冊子発行）
- 障がい学生支援室運営管理（予算・企画・備品）
- その他 学内外連絡調整等々

4



## 障がい学生への支援内容

- 聴覚障害
  - ・ ノートイク・パソコンイク・ビデオ教材の文字起し・字幕制作
  - ・ ゼミは希望により手話通訳
- 視覚障害（弱視含む）
  - ・ 教科書、授業プリント点訳
  - ・ 弱視者（拡大用北カード配布、掲示板の伝言）
- 肢体不自由
  - ・ 学内車輛乗入許可・専用駐車場・教室移動変更
  - ・ 専用イスの用意
- 発達障害
  - ・ 記録イク・教室変更等の連絡・随時面談
- その他
  - ・ 随時面談・連絡調整等

5



## 障がい学生数

- 障がい学生数 → 13名（内要支援学生12名）
  - 聴覚障害 → 6名（内要支援 5名）
  - 下肢機能障害 → 1名
  - 運動機能障害 → 1名
  - 内部障害 → 1名
  - 発達障害 → 3名
  - 高次脳機能障害 → 1名

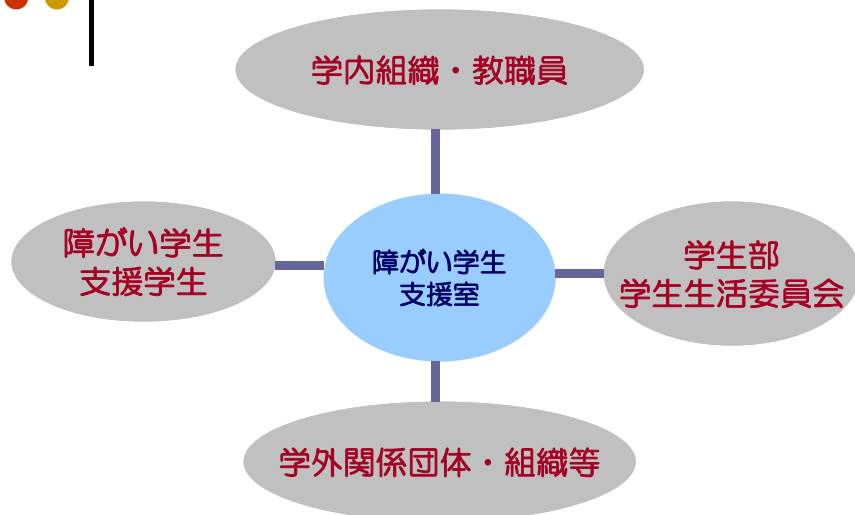
6



## 支援学生・支援者数

- 支援学生 → ノート付-登録数 130名
  - 2008年後期 支援学生数 延87名・実数71名
  - パリノ付- 実数10名・
  - 字幕付け・テープ起し → 延14名  
ノート付-以外11名
- ゼミ → 手話通訳 6名（社会人）
- 英語の授業 → ノート付- 1名（社会人）

7



8



## 障がい学生支援室の1日



「おはよう！」  
さあこれからノートイクへ

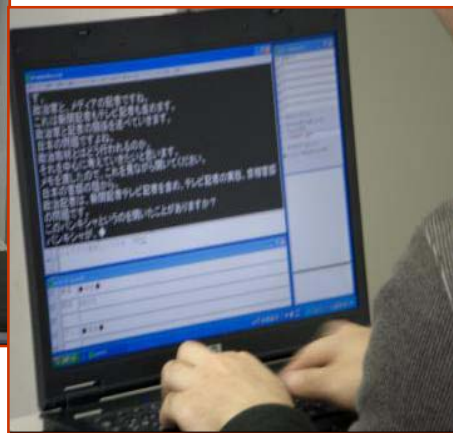
ノートイク中



9



## 「PCテイクで授業支援」



10



ゼミ「手話通訳中」  
手話通訳者依頼



11



手話で通じたかなあ？



ちょっと時間が空いたので・・・



12



点字図書室で  
「字幕制作中！」



13



昼休み「手話の会」  
みんなで楽しく学ぼう！



14



● ● ●  
利用学生とトピカ-のミーティング



授業担当者から話題提供



グループディスカッション

15

● ● ●  
外部講師による PC テイク講習会



16



外部講師による ノートテイク講習会  
(レベルアップ編)



17

本学の特色を活かして！

- 障害理解冊子をマンガで作成  
「アホマンガ」編集中！  
(聴覚障がい学生が原作と作画)
- 障がい学生や支援学生  
→ 他大学（手話サークル）や  
聾学校との交流  
(見学や障害理解)



18



## 今後の課題

- パリソカ-の育成・技術向上
- ノートワークの技術向上とマ-の指導
- 支援学生の障害理解
- 個々の障がい学生のニーズに応じた支援内容を提供
- 障がい学生の就業支援

19



ご清聴ありがとうございました



20